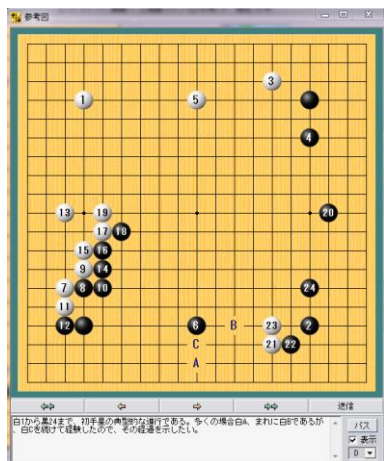


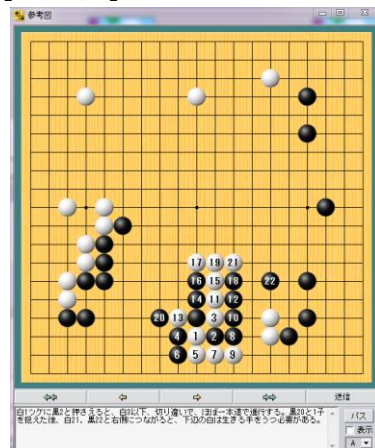
30. 三連星に入ってきた後のこと(4)

【70-1 図】



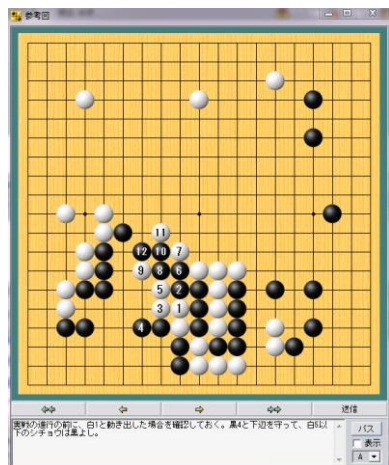
【70-1 図】 白 1 から黒 24 まで、初手星の典型的な進行である。多くの場合白 A、まれに白 B であるが、白 C を続けて経験したので、その経過を示したい。

【70-2 図】



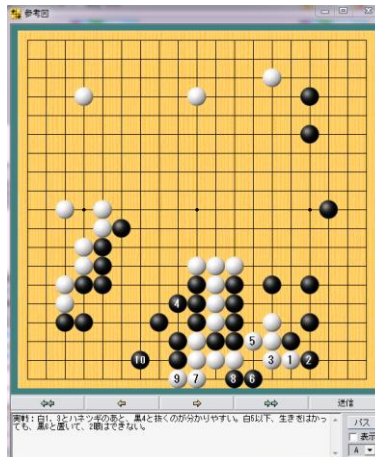
【70-2 図】 白 1 ツケに黒 2 と押さえると、白 3 以下、切り違いで、ほぼ一本道で進行する。黒 20 と 1 子を抱えた後、白 21, 黒 22 と右側につながると、下辺の白は生きる必要がある。

【70-3 図】



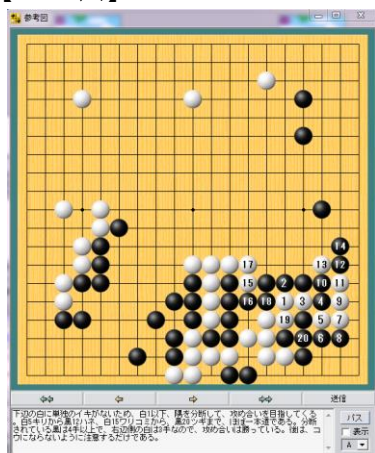
【70-3 図】 実戦の進行の前に、白 1 と動き出した場合を確認しておく。黒 4 と下辺を守って、白 5 以下のシチョウは黒よし。

【70-4 図】



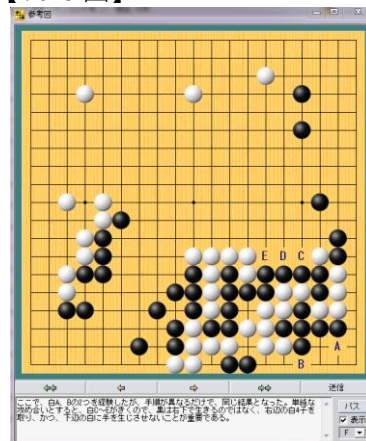
【70-4 図】 実戦 1 : 白 1, 3 とハネツギのあと、黒 4 と抜くのが分かりやすい。白 5 以下、生きをはかっても、黒 6 と置いて、2 眼はできない。

【70-5 図】



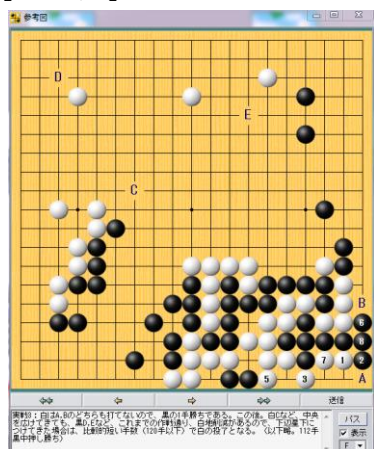
【70-5 図】実戦 2：下辺の白は単独で生きていないため、白 1 以下、隅を分断して、攻め合いを目指してくる。白 5 キリから黒 12 ハネ、白 15 ワリコミから、黒 20 ツギまで、ほぼ一本道である。分断されている黒は 4 手以上で、右側の白は 3 手なので、攻め合いは勝っている。後は、コウにならないように注意するだけである。

【70-6 図】



【70-6 図】ここで、白 A、B の 2 つを経験したが、手順が異なるだけで、同じ結果となった。単純な攻め合いとすると、白 C～E がきくので、黒は右下で生きるのではなく、右辺の白 4 子を取り、かつ、下辺の白に手を生じさせないことが重要である。

【70-7 図】



【70-7 図】実戦 3：白 1 には黒 2 のハネ、白 3 には黒 4 と放り込みの後、黒 6 とつぐ。白は A,B のどちらも打てないので、黒の 1 手勝ちである。この後。白 C など、中央を広げてきても、黒 D,E など、これまでの作戦通り、白地削減があるので、下辺星下につけてきた場合は、比較的短い手数（120 手以下）で白の投了となる。（以下略。112 手黒中押し勝ち）